

最終更新日： 2024年3月14日

| | | | | |
|-----------------|--|-------|------|------|
| 授業科目名 (講義題目) | プロジェクト演習 (履修要領) | | 開講学期 | 通年 |
| | | | 単位数 | 4 単位 |
| 担当教員名 | — | 講義コード | 科目区分 | 対象学生 |
| | | | 選択 | 2 年生 |
| 履修条件 | 必修科目の3分の2以上 (4科目8単位以上) を履修していなければならない。 (注) 履修が要件であり、単位修得を要件とするものではない。 | | | |
| 授業の概要 | <ol style="list-style-type: none">プロジェクト演習は、基本的に2年次の前期と後期に選択科目として開講され、教員との演習形式の指導と提出されたプロジェクト論文の審査により4単位が与えられる。プロジェクト演習は、産業や企業を取り巻く課題や経営環境の分析、新たなビジネス・モデルやビジネスの創出など本人の関心のある分野について、教員より研究指導を受けながら調査研究を行い、プロジェクト論文を作成することを目的とする。プロジェクトを通じて、基礎学力、分析力、論理的考察力、プレゼンテーション能力などの向上を図る。プロジェクト論文は、個人の研究成果として提出され審査を受けるが、多様な関心を持つ他の演習生と共に、指導教員から指導を受けることにより、様々な視点や課題に触れる機会を持つことが期待されている。 | | | |
| 授業の進め方 | 研究指導の進め方は、開始時に指導教員と学生の協議によって最適な方法が選択される。原則として、週一回程度のプロジェクト演習による指導が行われることとし、演習日の設定は指導教員が指定する。 | | | |

授業計画

<履修要領等>

I プロジェクトの選定と教員の選択に関する手順

プロジェクト演習の指導教員は、以下のプロセスにより決定される。

1. 1年次後期中に、プロジェクトを担当する教員名の公表を行い、教員の研究テーマや指導範囲に関して、演習内容説明会を開催する。希望する学生は、演習内容説明会に参加することで、プロジェクト演習の設定日や自らのプロジェクトのテーマとの適合性を判断する。日程、場所及び説明を行う教員名については、インフォメーション・ボードを通じて連絡する。なお上記日程に参加できない教員については、別途説明会を企画し、インフォメーション・ボードを通じて開催日を指示する。
2. 教員のオフィスアワーなどを活用した面談などを通じて、希望する教員に指導方法などについて必要な質問を行うことも可能である。
3. 短期留学を希望する者は原則としてプロジェクト演習を選択しない履修計画のトラックに入るものとする。（学生便覧参照）
4. テーマ及び指導を希望する教員に関する申請書を提出する。
5. 申請者のプロジェクトの内容と教員の研究領域の適合性および教員の担当しうる人数により、プロジェクト演習の指導学生を決定する。受入数を大幅に超えた場合には、教員による申請者の面接の実施も検討する。希望の範囲で収まらない場合には、産業マネジメント専攻が調整する。
6. 産業マネジメント専攻運営会議での審議を経て、指導教員と受入学生を決定し、結果を公表する。
7. 複数の指導教員の選択と指導教員の変更は原則として行わないが、変更が必要と認められる適切な理由が指導教員と学生から示される場合には、産業マネジメント専攻運営会議で審議する。
8. プロジェクト演習の指導教員は、原則として3月初旬までに決定する。なお、プロジェクト演習の履修申請を行わなかった学生については、同時期に修学指導教員を決定する。

II プロジェクト論文の内容

1. 研究成果としてのプロジェクト論文は、研究論文、事例研究、ビジネス・モデルなどの企画書、ケース・メソッドのケースなど、多様な形式が考えられる。学生の関心と担当教員の指導に基づいて、適切な形式が選択される。
2. プロジェクト演習において、グループ・プロジェクトが行われる場合にも、プロジェクト論文は、独自性のある個人の研究成果として個別の提出が求められる。

III プロジェクト論文の様式

1. プロジェクト論文は、A 4 サイズ・左綴じの様式で作成され、第2年次以降後期の指定日・指定時刻までに、学務課が指定した電子提出フォームに、指定されたファイル名、およびファイル形式で提出することとする。また、プロジェクト論文審査会以降の指定日・指定時刻までに、学務課に印刷済みのプロジェクト論文（A 4 サイズ・左綴じの様式）2部を直接あるいは郵送にて提出する。

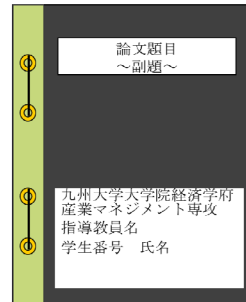
印刷済みのプロジェクト論文の提出をもって、論文の完全な提出とする。提出の遅延は原則として認められないが、病気ややむを得ない事情がある場合には、提出期限以前に速やかに学務課に連絡し、理由書（様式は問わない）と共に後日（原則として上記指定日から2週間後）論文を仮提出する。

その後、産業マネジメント専攻運営会議において、正式受理の可否を審議する。

<見本>

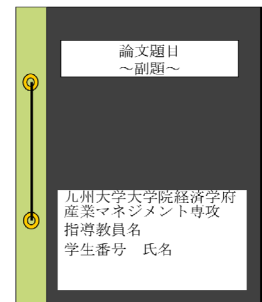
<装丁①>

4穴和綴じ



<装丁②>

2穴和綴じ



2. プロジェクト論文の分量は自由とし、以下の構成と様式とする。

- ・ 黒表紙の表紙を用いて、表記は見本の通りとする
- ・ 1 ページ目は、表紙と同様の表記とする
- ・ 2 ページ目から、論文要旨を2 ページ程度にまとめる（要旨は別途QBS年報にも掲載する）
- ・ 論文要旨の次に論文の目次を表記した上で、本論に入る
- ・ データ、文献などを参照ないし引用した場合は、必ずその出典を明らかにすること。その際、著者名および発行年を本文中に記載するか、または一定の注記法にしたがってそれらを記載した上、論文の最後部に、すべての参考文献の詳細な書誌情報（著者名・発行年・書名・掲載誌・出版社名など）をまとめて明記すること
- ・ 注記は、本文中の該当部分に上付数字を付した上、ページ下に脚注として表記するか、最後部の参考文献リストの直前にまとめて表記すること
- ・ 文書のフォーマットに関して、特に字体は問わないが、10.5 ポイントの文字サイズで、上下右に30 ミリ、左に35 ミリの空白を確保する
- ・ 論文の使用言語は、日本語または英語とする。なお、後述のプロジェクト論文審査会における発表資料、発表言語、質疑応答の使用言語も日本語または英語とする。

IV プロジェクト論文の審査と単位の認定

1. 提出論文を全て学務課で受け付け、発表会及び主査・副査による審査を経て、合否判定を行う。
論文未提出の場合には、当該者は不合格とする。
 2. 発表会及び審査の後に、主査の指示がある場合に限り、論文内容の改訂、一部差替えができる。ただし、その訂正の範囲は文字の誤植の程度とし、論旨を変えない範囲とする。
 3. 提出されたプロジェクト論文に関する副査への事前説明の要請を受けない。
 4. 提出されたプロジェクト論文については、指導教員を主査とし、主査が指名する関連する専門分野の教員1名および産業マネジメント専攻運営会議執行部が指名する教員1名を副査として、1月下旬～2月上旬を目処に審査を行う。提出者は、指定された日時に、提出論文について20分のPowerPointなどを用いたプレゼンテーションを行い、続いて主査、副査及びその他による質疑を15分以内で受ける。
 5. プロジェクト論文の審査は、提出された論文とプレゼンテーションに対する主査と副査の評価に基づいて行われる。また、プロジェクト演習の成績は、論文の審査結果と、主査によるプロジェクト演習遂行内容の評価を合わせて総合的に判定される。
 6. 論文審査は、審査の客観性を確保するとともに研究成果を広く社会に還元し評価を受けることを目的として、提出者により守秘義務に抵触する等の特段の支障が申し立てられない限り、公開審査の形式をとる。なお、発表会及び主査・副査による審査を非公開とする場合には、主査の許可（口頭等でよい）を得て、学務課に申し出ること。後日、非公開審査である旨をインフォメーション・ボード等に掲載し、学生に公表する。
 7. プロジェクト演習の単位は、産業マネジメント専攻運営会議における審査を経て最終的に認定される。
 8. 提出された論文の取り扱い（公開・非公開を含む）について、本人の意思を確認するので、「プロジェクト論文利用確認書」を学務課に提出すること。なお、論文の非公開を希望する場合は、主査の許可（口頭等でよい）を得た上で、利用確認書を提出すること。
 9. プロジェクト演習論文は、1部は主査が保管し、もう1部は学務課において利用確認書と併せて中央図書館に保管する手続きを行い、その後閲覧に供する。ただし、主査の許可（口頭等でよい）を得て利用確認書において公開不可の要請がなされた論文については、学務課は閲覧不可の状態中央図書館に管理を依頼する。
10. 優れたプロジェクト論文には、「南信子教育研究基金」より、学部生および大学院生の研究奨励を目的とした「南賞・優秀賞」が授与され、「経済学研究(別冊)」に論文要旨が掲載される。6. 論文審査は、審査の客観性を確保するとともに研究成果を広く社会に還元し評価を受けることを目的として、提出者により守秘義務に抵触する等の特段の支障が申し立てられない限り、公開審査の形式をとる。なお、発表会及び主査・副査による審査を非公開とする場合には、主査の許可（口頭等でよい）を得て、学務課に申し出ること。後日、非公開審査である旨をインフォメーション・ボード等に掲載し、学生に公表する。